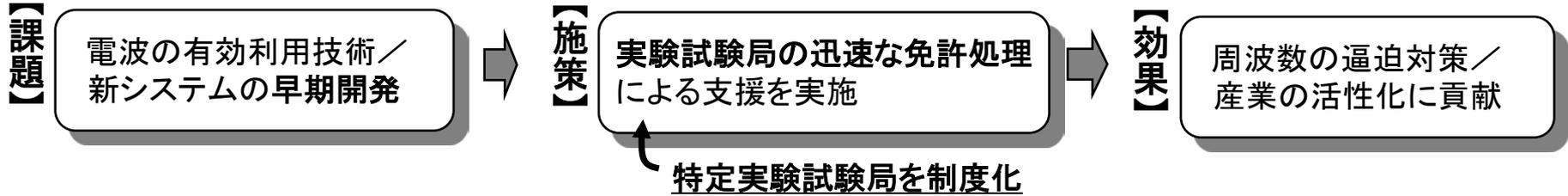
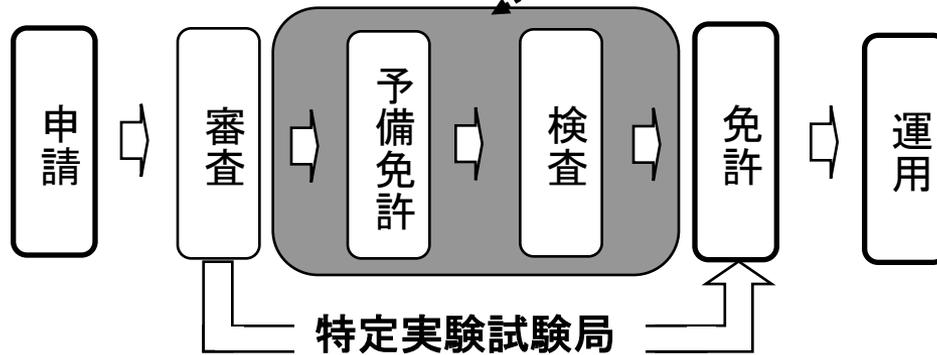


特定実験試験局制度の概要



①具体的な手続の概要

<実験試験局の免許手続の流れ>



一定の条件の下、

- ・手続を簡略化
- ・処理期間を短縮化

<一定の条件(混信防止等)>

- 予め登録点検事業者による点検を実施
- 使用可能な地域、周波数、空中線電力は告示された範囲内
- 特定実験試験局同士の運用調整
- 免許の期間は告示の範囲内で最大5年間

* 詳細は信越総合通信局ホームページを参照
<http://www.soumu.go.jp/soutsu/shinetsu/>

②申請者のメリット

<審査処理期間の短縮>

最も時間がかかる場合で比較すると、

最長6ヶ月 (実験試験局) \longrightarrow 1~2週間程度へと短縮

↓
 迅速な製品開発、実験・研究が可能に

<手続の簡略化>

即免許 = 落成検査不要

↓
 検査手数料の不要化に伴う負担軽減